



# 千一ムカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.16

令和5年1月31日

児童数:533名

文責:校長 馬場康弘

## 給食記念週間



1月24日(火)から1月30日(月)の1週間は、「全国学校給食週間」でした。学校給食は1889年、今から130年以上も前、山形県で始まったと言われています。

当時は、学校に家からお弁当を持ってこることができない子どもたちのために、学校の先生をしていたお坊さんが、おにぎり・焼き魚・漬け物というお昼ご飯を出してくれたそうです。これが、給食の始まりと言われています。

しかし、第二次世界大戦でこの給食は中断されることになりました。戦後は食べるものがなく、子どもたちも苦しい生活を送っていました。そんな子どもたちを救うために、戦争が終わって1年後の昭和21年に外国から粉ミルクや缶詰、小麦粉が送られてきました。それによって給食が再開されたのです。この物資の贈呈式が12月24日に行われましたが、日本では冬休みに入るため、1か月後の1月24日を「給食記念日」とされました。それで、1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」として、給食を通して食べ物の大切さについて考えたり、給食に関わる全ての人々に感謝の気持ちを表したりする機会となっています。



【家庭科室前に掲示されている  
全校児童の感謝のメッセージ】

そして、私たちは数多くの動物や植物の命をいただきながら生かされていることを決して忘れてはいけません。「いただきます」と「ごちそうさま」が当たり前と言えるよう、未来を背負う子どもたちへ確実に伝えていきたいものです。

## 楽しかった国際交流会！

1月20日(金)と25日(水)に国際交流会を行いました。今回は、6名のALTの先生方を招聘し、低学年の子どもたちと交流を深めることができました。



ALTから母国の写真を見せられると、子どもたちからは、「わー」とか「すごーい」と言った歓声が起こっていました。また、簡単な英語を使い、コミュニケーションをとっていました。異国文化へ関心を持ち、国際理解のきっかけとなればと思います。



## 積雪に大興奮！

先週は 10 年に一度と言われる寒波が訪れ、特に、25 日（水）は積雪もあり、子どもたちの登校を心配しました。保護者の皆様方には、安全な登校にご協力いただき、誠にありがとうございました。下の写真は、早朝の運動場の様子です。一面銀世界が広がり、子どもたちにとって魅力ある場所となっていました。



登校してきた子どもたちは大興奮です。さっそく運動場へ飛び出てきました。雪合戦をしたり、雪だるまをつくったりして、普段できない雪遊びに夢中になっていました。どの子もいい表情をしていて、貴重な経験になったと思います。



まだまだ新型コロナやインフルエンザは注意が必要ですが、子どもたちには寒さに負けないで、元気に毎日を過ごしてほしいものです。

## 第36回 熊本県小学校合奏祭

28 日（土）に熊本県立劇場で、第 36 回合奏祭が行われました。コロナ禍にあり 3 年ぶりの開催でしたが、県内各地から 28 校（団体）が出場し、本校からも「総合音楽部」の子どもたちが出場しました。

「大観衆の前で緊張しないかな？」と少し心配していた私が恥ずかしいと思えるほど、子どもたちは伸び伸びと楽しんで演奏していました。

（会場が撮影禁止になっていて、本誌に写真を掲載することができず残念ですが・・・）特に、「怪物」という曲を演奏したときには、会場から拍手が沸き起こり、私の近くに座っておられた方が、思わず「うまい」とうなずかれました。

まさに本番に強い子どもたちでした。限られた時間の中での練習でしたが、子どもたちは 1 回 1 回の練習に集中して取り組み、効率的に努力してきた成果を存分に発揮できたと思います。この経験やステージから見た景色は、いつまでも子どもたちの心に残ることでしょう。

すばらしい演奏をありがとうございました。

さて、学校でも 3 月 2 日（木）の「とねりこ音楽会」に向けて、練習も熱を帯びてきました。休み時間でも自分たちで進んで練習する姿が多くなってきました。音楽を通して、学級や学年のみんなの心が一つになり、結びつきを強め、一人一人が達成感を味わう場となればと思っています。ご家庭でもお子さんを、うんと励ましていただければありがたいです。

